

# 知覚動考

「誰一人取り残さない 子供が育つ学校づくり」

寒河江市立南部小学校  
校長室だより  
校長 白田 敏幸

## みなさんは、どう考えますか？どうとらえますか？

SNS 上に、下記のような言葉が流れてきました。  
全てが正しいかどうかは分かりませんが、2人の子供を育てた親として、35年間教員として子供に関わってきた者として、うなずけることが多々ありました。

みなさんは、どう考えますか？どうとらえますか？  
一人一人の価値観が違いますが、子供に関わる一人の大人として、ご一考していただけたら幸いです。



- ◇子供は頭がいいとほめられると ⇒ 失敗を恐れやすくなる。
- ◇努力をほめられると ⇒ 難しいことに挑戦しやすくなる。
  
- ◇子供を子供扱いすると ⇒ 反抗期が長引いてしまう。
  
- ◇子供は3歳までの間に ⇒ 一生分の親孝行をしている。  
(生まれてきてくれたこと、かわいい笑顔を見せてくれた、それだけで十分な親孝行である。)
  
- ◇子供にがっかりした顔を見せると ⇒ 臆病になり挑戦しなくなる。
  
- ◇親が子供を心配すればするほど ⇒ 子供は自信を失ってしまう。
  
- ◇子供の目を見て話すと ⇒ 頭が活発になり、頭がよくなるらしい。
  
- ◇父親の愚痴を言う母親に育てられた子供は  
⇒ 将来、結婚を無意識に避ける性格になるらしい。
  
- ◇親から愛情を多く受けた子供は ⇒ 子供と遊びたがる。
- ◇親からの愛情が足りない子供は ⇒ 大人と遊びたがる。

子供は環境（家庭、学校、学級、地域等々）に影響されながら育ちます。子供の育ちには、周りにいる大人の接し方がとても重要だと思っています。